



指揮

小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

第九 特別演奏会 2025

指揮

出口大地

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

12/20 日 14:00 サントリーホール
12/21 日 14:00 横浜みなとみらいホール
12/23 火 19:00 東京芸術劇場
12/27 土 14:00 東京芸術劇場
12/28 日 14:00 東京芸術劇場

オルガン：石丸由佳 *
ソプラノ：小川栞奈
メゾソプラノ：山下牧子
テノール：錦織 健
バリトン：寺田功治 (12/20-23)、
青山 貴 (12/27, 28)
合唱：東京音楽大学 (12/20, 21)、
武蔵野合唱団 (12/23)、
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/27, 28)

メンデルスゾーン：オルガン・ソナタ第1番
op.65 より II. アダージョ

パッヘルベル：クリスマス・コラール
《高き天よりわれは来たり》

J.S. バッハ：トッカータとフーガ
ニ短調 BWV565

(以上3曲オルガン独奏*)

ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

指揮：出口大地

12/13 日 15:00 横浜みなとみらいホール
[第413回 横浜定期演奏会]
12/14 日 14:00 サントリーホール

ソプラノ：砂田愛梨
メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：石井基幾
バリトン：高橋宏典
合唱：東京音楽大学 (12/13)、
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/14)

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

料金

S席 ¥10,000 A席 ¥9,000

B席 ¥7,500 C席 ¥6,000

P席 合唱団

Ys (25歳以下) 席 ¥4,000

Gs (70歳以上) 席 ¥6,000 (12/13除く)

好評
発売中



日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第410回

横浜定期演奏会

410th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年 9月20日(土) 午後3時開演

横浜みなとみらいホール

3:00pm September 20th (Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：神奈川新聞社、+vkk(テレビ神奈川)、駐日シンガポール共和国大使館

協力：横浜みなとみらいホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
——創立指揮者 渡邊 暁雄——



文化庁

70周年記念特別定期演奏会 横浜定期演奏会

横浜みなとみらいホール 土曜 15時開演

第416回 2026年4月25日

尾高忠明と前橋汀子——円熟の輝きが舞台を満たす

指揮：尾高忠明 ヴァイオリン：前橋汀子

ディーリアス：楽園への道（歌劇《村のロメオとジュリエット》より）
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
シベリウス：交響曲第5番

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,500 C¥5,500 P¥5,000 Ys¥2,500

第417回 2026年5月9日

小林研一郎と小山実稚恵、この二人だからこそ叶う「楽興の時」

指揮：小林研一郎〔桂冠名誉指揮者〕 ピアノ：小山実稚恵

ベートーヴェン：《エグモント》序曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

第418回 2026年6月27日

盟友と紡ぐブルッフのロマンと勝利のベートーヴェン

指揮：広上淳一〔フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）〕

ヴァイオリン：ボリス・ベルキン

モーツァルト：歌劇《劇場支配人》序曲
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

第419回 2026年7月4日

情熱と色彩が彩る、ドラマティックで美しい音楽の旅

指揮：西本智実 ピアノ：貫川 風

サン＝サーンス：歌劇《サムソンとデリラ》より「バッカナール」
グリーグ：ピアノ協奏曲
チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,500 C¥5,500 P¥5,000 Ys¥2,500

第420回 2026年9月19日

ラザレフのラフマニノフ！濃密な音楽世界を

指揮：アレクサンドル・ラザレフ〔桂冠指揮者兼芸術顧問〕

ピアノ：河村尚子

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
ラフマニノフ：交響的舞曲

S¥10,000 A¥8,500 B¥7,500 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

横浜定期 年間会員券（Ys：25歳以下／S席除く）

S ¥58,000 A ¥48,000 B ¥42,000 C ¥36,000
P ¥27,000（全9回） Ys ¥15,000

半期会員券

【春夏】S ¥33,000 A ¥28,000 B ¥24,000
C ¥21,000 P ¥17,000 Ys ¥9,000
【秋冬】S ¥34,000 A ¥29,000 B ¥25,000
C ¥21,000 P ¥14,000（全4回） Ys ¥9,000

第421回 2026年10月31日

小林研一郎との絆の証

指揮：小林研一郎〔桂冠名誉指揮者〕

オーボエ：杉原由希子〔首席奏者〕 クラリネット：伊藤寛隆〔首席奏者〕
ホルン：信末碩才〔首席奏者〕 ファゴット：田吉佑久子〔首席奏者〕
モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136
モーツァルト：協奏交響曲 変ホ長調 K.297b
ベートーヴェン：交響曲第7番

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

第422回 2026年11月22日（日）

サーの称号を持つ名ピアニストが、カーチュン・ウォンと再び豪華「響」演

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

ピアノ：サー・スティーヴン・ハフ

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
サン＝サーンス：交響曲第3番《オルガン付き》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

第423回 2026年12月19日

心震わす歓喜の歌とともに、新しい年へ

指揮：阪 哲朗

ソプラノ：隠岐彩夏 カウンターテナー：藤木大地
テノール：小堀勇介 バリトン：池内 響 合唱：調整中
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

S¥10,000 A¥9,000 B¥7,500 C¥6,000 P合唱団 Ys¥4,000

第424回 2027年1月9日

カーチュン・ウォンと祝うニューイヤーコンサート！

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

トランペット：児玉隼人

ハチャトゥリアン：組曲《仮面舞踏会》
ハイドン：トランペット協奏曲
J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇《こうもり》序曲
J. シュトラウスⅡ世：ワルツ《美しく青きドナウ》
ラヴェル：《ダフニスとクロエ》第2組曲

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

第425回 2027年3月27日

ユーラシアとローマ、音楽が描く壮大な歴史絵巻

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

ヴァイオリン：田野倉雅秋〔ソロ・コンサートマスター〕

ボロディン：歌劇《イーゴリ公》序曲
ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲
ムソルグスキー（リムスキー＝コルサコフ編曲）：交響詩《はげ山の一夜》
レスピーギ：交響詩《ローマの松》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

カーチュン・ウォンのタクトで、怪獣と名曲が出会う

前半のテーマは「ゴジラ」。そう、あの怪獣映画のゴジラです。伊福部昭の「SF 交響ファンタジー第1番」では、誰もが知るゴジラを象徴する「あのメロディ」が出てきます。例えば映画をご覧になっていなくてもココロがワクワク（ゾワゾワ?）してしまう伊福部マジックをお楽しみください。しかも今や伊福部作品のスペシャリストと言っても過言ではないカーチュン・ウォンと日本フィルの演奏です。そして2曲目のラヴェルのコンチェルトでも第3楽章に「あのメロディ＝ゴジラのテーマ」が出てきます。はたしてそれは偶然かはたまた…？ソロには気鋭のピアニスト高木竜馬を迎えます。後半はクラシック音楽の至宝ドヴォルジャークの《新世界》交響曲をたっぷりご堪能ください。

Programs

伊福部昭：SF 交響ファンタジー第1番（約15分）

IFUKUBE Akira: Symphonic Fantasia No.1

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調（約23分）

Maurice RAVEL: Concerto for Piano and Orchestra in G-major

——— 休憩（15分） Intermission ———

ドヴォルジャーク：

交響曲第9番《新世界より》ホ短調 op.95 B.178（約40分）

Antonín DVORÁK: Symphony No.9 "From the New World" in E-minor, op.95 B.178

●

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

ピアノ：高木竜馬

Piano: TAKAGI Ryoma

コンサートマスター：扇谷泰朋〔日本フィル・ソロ・コンサートマスター〕

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

©Ayane Sato



指揮：カーチュン・ウォン [首席指揮者]

シンガポール生まれのカーチュン・ウォンは、舞台におけるその圧倒的な存在感と東西の音楽的遺産を探究し続ける思慮深さにおいて国際的に高い評価を得ている。2023年より日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、そして2024年秋にサー・マーク・エルダーの後任として英国の名門オーケストラ、ハレ管弦楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。2025年夏、英国タイムズ紙が「最高となる五つ星を超えた六つ星に値する」と絶賛したハレ管弦楽団とマーラー交響曲第2番《復活》でのBBCプロムスへの鮮烈なデビューは記憶に新しい。

2016年マーラー国際指揮者コンクールでの優勝以来、ウォンはクリーヴランド管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする世界有数のオーケストラに客演。

現代作曲家と異文化対話の積極的な推進者でもあるウォンはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン《火の儀式》、BBC交響楽団と細川俊夫《祈る人》、シアトル交響楽団におけるリーナ・エスマイル《ヒンドゥスタンヴァイオリンの為の協奏曲》の世界初演を指揮。ドレスデン・フィル首席客演指揮者時代にはナロン・プランチャルーン《影の反映》を委嘱。ニュルンベルク交響楽団首席指揮者としての最終公演ではムソルグスキー《展覧会の絵》を五種類の中国民族楽器とオーケストラのためウォン自身が再構築・指揮している。

日本フィルとマーラー交響曲第5番、ハレ管弦楽団とブリテン《パゴダの王子》およびブルックナー交響曲第9番の録音がリリースされている。



← YouTube チャンネル
【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】
X、Instagram では2分バージョン配信中！

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。
ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中は手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

©Yuji Ueno



ピアノ：高木竜馬

第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。

その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィル、東京交響楽団、日本フィル、新日本フィル、大阪フィル、大阪交響楽団、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、富士山静岡交響楽団、ARKシンフォニエッタ等のオーケストラと、ハンス・グラーフ、エドワード・ガードナー、ゲルゲイ・マダラシュ、アンドレア・バッティストーニ、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠明、高関健、佐渡裕、藤岡幸夫、沼尻竜典、下野竜也、鈴木優人、杉本優、三浦文彰等の指揮で共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動を続けている。

NHK 総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK Eテレ『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。2024年4月にはイープラスミュージックよりデビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。



今日のコンサートの聴きどころは？

多彩な活動を展開する期待の若手
布施砂丘彦さんの解説をお楽しみください。

14時20分
より
大ホール内
にて♪

布施 砂丘彦 (ふせ さくひこ)

東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオローネ奏者、批評家、音楽プロデューサー。2020年9月に時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論奨励賞を受賞して批評家デビュー。朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして、雑誌やウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。2023年から「箕面おんがく批評塾」(箕面市メイプル文化財団主催)塾長。



伊福部昭：SF 交響ファンタジー 第1番

首席指揮者カーチュン・ウォンが手掛ける伊福部作品も今作で、6曲目となる。

日本作曲界の代表者の1人である伊福部昭(1914-2006)は、北海道の釧路に生まれ、北海道大学卒業後林務官などを務めるかわら、独学で作曲を学んだ。1935年、「日本狂詩曲」でパリにおけるチェレブニン賞(オネゲル、イペール、タンスマン、ルーセルなど錚々たる面々が審査員を務めた)を獲得。これが世界的に認められるきっかけとなり、翌年来日したコンクール主催者のアレクサンドル・チェレブニンに短期間師事している。以後「土俗的三連画」「交響譚詩」「シンフォニア・タプカーラ」など、日本の土壌に密着した土俗的な作品を発表し、芥川也寸志をはじめとする多くの後進に影響を与えた。

戦後、代名詞ともなった「ゴジラ」等、東宝特撮映画のための音楽も数多く手がけた。1983年に開催された「伊福部昭：SF 特撮映画音楽の夕べ」のために一連の特撮映画音楽を自ら編曲してメドレーにしたのがこの作品。第1番～第3番まであり、全曲は広上淳一指揮日本フィル演奏によるCD『伊福部昭の芸術4』に収められている。第1番の内容は以下の通り。

ゴジラの動機～間奏部～『ゴジラ』タイトルテーマ～『キングコング対ゴジラ』タイトルテーマ～『宇宙大戦争』夜曲～『フランケンシュタイン対地底怪獣』バラゴンの恐怖～『三大怪獣 地球最大の決戦』～『宇宙大戦争』タイトルテーマ～『怪獣総進撃』マーチ～『宇宙大戦争』戦争シーン

楽器編成 ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トムトム、タムタム、コンガ、ハープ1、ピアノ1、弦楽5部。

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調

「はじめ私はこの協奏曲に“ディヴェルティスマン(嬉遊曲)”と名付けるつもりだった。」

モーリス・ラヴェル(1875-1937)自身がこのように語ったコンチェルトは、たしかにブラームスやラフマニノフのような重厚で高濃度のロマンに満ちた姿ではなく、フランスの作曲家ならではの軽妙な作品に仕上がっている。

同時期に書かれたもう一方の《左手のための協奏曲》同様、この曲を特徴づけているのは、当時既にヨーロッパでも一般的になりつつあったジャズからの影響である。元々ラヴェルが駆使していた純度の高い音選びと、ジャズ独特の節回しが高次元で融合しており、この作品が20世紀前半のフランス音楽界を象徴する傑作として、当時の刺激的な空気を今に伝えている。

なお、本曲はラヴェルのアメリカ公演における自作自演を念頭に置いて作曲が進められていたが、完成は何度かの中断で延期。1932年パリのサル・プレイエルにおいてマルグリット・ロンの独奏、ラヴェル自身の指揮により初演された。《左手のための協奏曲》が単一楽章調なのに対し、この協奏曲では古典的な3楽章形式から構成されている。

第1楽章：アレグラメンテ、ト長調、2分の2拍子、ソナタ形式。

第2楽章：アダージョ・アッサイ、ホ長調、3部形式。

第3楽章：プレスト、ト長調、2分の2拍子、自由なソナタ形式。

楽器編成 独奏ピアノ、ピッコロ1、フルート1、オーボエ1、イングリッシュホルン1、Es管クラリネット1、クラリネット1、ファゴット2、ホルン2、トランペット1、トロンボーン1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タムタム、ウッドブロック、鞭、ハープ1、弦楽5部。

ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》ホ短調 op.95 B.178

アントニン・ドヴォルジャーク(1841-1904)はチェコの国民楽派を代表する作曲家のひとり。彼の芸術表現には、先輩スメタナからの影響による民族主義的性格が窺える。と同時に、ウィーンを中心に花開いた、いわゆる「ドイツ音楽」からの影響も聞き逃さない。1875年、34歳のときにオーストリア政府の奨学生に応募しウィーンに留学した彼は、奨学生試験の審査員のひとりであったブラームスに出会い、この偉大な交響曲作曲家の重厚な作風からも大きな影響を受けたからである。そしてブラームスの力添えで多くの出版社とも交渉するようになり、ドヴォルジャークの名声は次第に広くヨーロッパに知れわたっていった。

1892年秋に彼はニューヨークのナショナル音楽院の創設者ジャネット・サーバーに招かれ渡米し、1895年春までの2年半に及ぶ音楽院院長職時代に次々と傑作を書き上げた。さまざまなアメリカの民俗音楽を採集研究し、とりわけアメリカ先住民の民俗音楽や黒人霊歌に深い関心を示し、それらの音楽から受けた新鮮な感動を素直な形で自作品、例えば弦楽四重奏曲第12番《アメリカ》などに反映させている。

一方、異郷に暮らすドヴォルジャークはアメリカにあったボヘミア移民の村をしばしば訪れ、母国への郷愁を常に心に抱いていた。こうして、新しい世界から受ける新鮮な印象とボヘミアへの望郷の念とが入り交じった作品が生み出されていくのだが、その代表作が1893年に一気呵成に作曲されたこの交響曲である。

何よりもタイトルが《新世界》にあらず、《新世界より》となっているのが、その証拠。またオーケストレーションの筆が進められていったのも、アイオワ州にあったボヘミア移民の町で夏を過ごしている時だった。初演は完成後間もない1893年12月16日、アントン・ザイドル指揮のニューヨーク・フィルハーモニック協会管弦楽団演奏会で行われている。

第1楽章：アダージョ、ホ短調、8分の4拍子～アレグロ・モルト、4分の2拍子、緩徐序奏部つきソナタ形式。

第2楽章：ラルゴ、変ニ長調、4分の4拍子、複合三部形式。このコール・アングレで奏される主題はとりわけ美しく、詩をつけて「家路」という歌として親しまれている。

第3楽章：モルト・ヴィヴァーチェ、ホ短調、4分の3拍子、スケルツォ楽章。

第4楽章：アレグロ・コン・フォーコ、ホ短調、4分の4拍子、ソナタ形式。金管で奏される力強い主題をもった堂々たるフィナーレ楽章。交響曲の締め括るにあたっては、常套手段ともいえる強奏のかわりに、長く引き伸ばされた和音が静かに消えてゆくという異例の手段が用いられている。

楽器編成 フルード2(ピッコロ持替1)、オーボエ2(イングリッシュホルン持替1)、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、シンバル、トライアングル、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ～クラシックこぼれ話 by 小宮正安



ラヴェル、大戦、ジャズ…

ヨーロッパが未曾有の繁栄を迎えたのは、19世紀後半のこと。それまでの王侯貴族にかわって、社会の中心に躍り出た市民たちの華々しい生産・消費活動により、ヨーロッパは豊かになった。だがそうした「豊かさ」の裏側で、公害、恐慌、貧困等の問題が生まれ、それらは19世紀も終わりに近づけば近づくほど、覆い隠せない事実となってゆく。

そうした状況の中で生を受け、ヨーロッパの光も影も知り尽くした1人がラヴェルである。だからこそ彼の作る音楽は、伝統的なヨーロッパの音楽のスタイルを微妙に崩し、ゆるがせにしてゆくような独特の響きを与え、またそれが大きな話題を巻き起こす。

だがこれだけでは、ラヴェルとしては矛盾したヨーロッパの社会を変革するには不十分だったのだろう。そんな彼が当初熱狂したのが、第一次世界大戦だ。ラヴェルとしてはこの戦争こそが、芸術の力をもってしてもなかなか風穴をあけることのできないヨーロッパの閉塞状況を、打破してくれると考えたのである。

こうした事情もあって、既に高名な音楽家であったにもかかわらず、また周囲が反対したにもかかわらず、ラヴェルは輸送兵として志願し、前線に赴く。だがそこで、地獄絵図と化した戦争の現状を目の当たりにした結果、精神的に深い傷を負い、戦線から離脱することとなった。しかも悪いことは重なるもので、大戦中に最愛の母も亡くしてしまう。結果、ラヴェルは第一次世界大戦後、大スランプに陥ってしまった。

そんな彼に、新たな創作意欲を与えるきっかけとなった1つがジャズだ。伝統的なヨーロッパの価値観からすれば、ジャズは新興国家アメリカから伝わって来た怪しげな大衆音楽に過ぎなかった。だがそうした音楽こそが、大戦によっても根本的な矛盾を解決出来なかった…さらに言えば、大戦によってますます疲弊してしてしまったヨーロッパに、新風をもたらす存在なのではないか？ラヴェルをはじめ、当時の最先端を行く少なからぬ音楽家がジャズに魅せられていった所以である。



第一世界大戦で従軍するラヴェル

出典：Bibliothèque nationale de France, département Musique, Est.RavelM.012bis

Next YOKOHAMA

第411回 横浜定期演奏会

2025年10月25日(土) 15:00
横浜みなとみらいホール

指揮：藤岡幸夫

トロンボーン：伊藤雄太 [首席奏者]

吉松隆：アトム・ハーツ・クラブ組曲第1番 op.70b

吉松隆：トロンボーン協奏曲《オリオン・マシン》op.55

シベリウス：交響曲第1番 ホ短調 op.39

S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys (25歳以下)席 ¥2,500

©Shin Yamagishi



藤岡幸夫

©井村重人



伊藤雄太

ソリスト!伊藤雄太メッセージ

10月の横浜定期で吉松隆のトロンボーン協奏曲《オリオン・マシン》に初めて挑戦します。とても難しい作品ですが、静かな場面は特に綺麗で、そこから広がるミステリアスな雰囲気を感じていただけるよう心を込めて演奏します。曲の中にアドリブがありますのでそこにも注目してお聞きください!

日本フィル 横浜アンサンブル・ワンダーランド Vol.3

JPO Brass Quintet ~横浜に輝くブラスアンサンブルの夕べ~

2026年1月27日 19:00
横浜みなとみらいホール 小ホール

JPO Brass Quintet

トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ、
犬飼伸紀

ホルン：信末碩才 トロンボーン：伊藤雄太

チューバ：柳生和大



【第1部】ヴェルディ：歌劇《ナブッコ》序曲 エヴァルト：金管五重奏曲第2番

ガーシュウィン：組曲《ポーギーとベス》

【第2部】トークイベント



チケット 【全席指定】※未就学児不可 一般 3,000円
各種会員 2,500円 U18シート 1,000円
※会員：日本フィル各種会員。みなとみらいホールのウェブフレンズ会員。

発売日 10/17 金 優先発売
10/20 月 ウェブフレンズ会員発売
10/24 金 一般発売

主催：日本フィルハーモニー交響楽団 協力：横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

■定年のお知らせ

トランペットの星野究が2025年7月30日に定年を迎えました。星野は1990年6月に入団し、首席奏者や楽団長として活躍してまいりました。また、ヴァイオリンの西村優子が2025年9月10日に定年を迎えました。1987年12月に入団し、ヴァイオリン・セクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

■楽団長就任（交代）のお知らせ

2025年8月1日より楽団長はクラリネットの伊藤寛隆が務めます。

■退団のお知らせ

クラリネットの堂面宏起が8月31日付で退団いたしました。2019年1月に入団し、クラリネット・セクションで活躍してまいりました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ（9月24日最終回）

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組！『Welcome クラシック』BS 朝日 毎週水曜日 22:54～23:00（第3週、第4週は再放送）。ぜひご覧ください！

第412回 名曲コンサート

2026年1月11日 日 14:00
サントリーホール

指揮：小林研一郎（桂冠名誉指揮者）

J. シュトラウスⅡ世：

ワルツ《美しく青きドナウ》

ドヴォルジャーク：

交響曲第9番《新世界より》 他

好評
発売中
！

にじクラ ～トークと笑顔と、音楽と 第9回

2026年1月21日 火 14:00
サントリーホール

指揮：坂入健司郎 ヴァイオリン：高木凜々子*

ナビゲーター&語り：高橋克典

サラサーテ：カルメン幻想曲 op.25 *

ビゼー：『カルメン』第1・2組曲 より 他
（高橋克典による語りつき）

好評
発売中
！

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様の都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご送付ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

7月の寄付者 西尾美智子、匿名5名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911（平日10時～17時）
FAX: 03-5378-6161（24時間）
e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急（横浜みなとみらいホール向かい）にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食：下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。（4名様まで）※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご呈示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

（1956年6月創立）

- 創立指揮者／渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者／小林研一郎
- 名誉指揮者／ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者／ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者／ネーメ・ヤルヴィ
- 首席指揮者／カーチュン・ウォン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問／アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）／広上淳一

公式X（元Twitter）
@Japanphil

LINE 公式
アカウント

ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋 アシスタント・コンサートマスター 千葉清加 第1ヴァイオリン 伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 柳 渚 竹歳夏鈴 成澤美紀 宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之 フルート ◎真鍋恵子 齋藤光晴 難波 薫 オーボエ ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅 佐竹真登 クラリネット ◎伊藤寛隆 ◎楠木 慶 照沼夢輝 ファゴット ◎田吉佑久子 ◎鈴木一志 中川日出鷹 ホルン ☆丸山 勉 ◎信末碩乎 伊藤 舜 原川翔太郎 村中美菜	ソロ・チェロ 門脇大樹 菊地知也 チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 篠原和仁 山田智樹 コントラバス 鈴木優介 成澤美紀 宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之 ◎真鍋恵子 齋藤光晴 難波 薫 オーボエ ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅 佐竹真登 クラリネット ◎伊藤寛隆 ◎楠木 慶 照沼夢輝 ファゴット ◎田吉佑久子 ◎鈴木一志 中川日出鷹 ホルン ☆丸山 勉 ◎信末碩乎 伊藤 舜 原川翔太郎 村中美菜	ソロ・トランペット オッタビアーノ・クリスト・フォリ トランペット ◎大西敏幸 ◎大飼伸紀 中里州宏 中務朋子 星野 究 トロンボーン ◎伊藤雄太 ◎笠間勇登 福島莉那 バス・トロンボーン 中根幹太 チューバ 柳生和大 ティンパニ ◎エリック・バケラ ◎池田健太 パーカッション 大河原 渉 本間雄也 ハーブ 松井久子 楽団長 伊藤寛隆 チーフステージマネージャー 阿部紋子 ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔 チーフインスペクター 佐藤駿一郎 インスペクター 鈴木優介 谷崎大起 ライブラリアン 鬼頭さやか 坂庭史映 杉本哲也	会長（代表理事） 平井俊邦 理事長（代表理事） 石塚邦雄 副理事長（代表理事） 五味康昌 専務理事（代表理事） 福井英次 常務理事（代表理事） 後藤朋俊 理事 石井啓一郎 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 葉田順治 福本ともみ 別府一樹 監事 福澤宏哉 細谷義徳 評議員会会長 加藤丈夫 評議員 青井 浩 安孫子 正 荒蒔康一郎 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 中根幹太 西澤 豊 野間省伸 福満一夫 村上典吏子 山口多賀幸	名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔 チーフマーケティングオフィサー 伊藤治彦 マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 萩島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 金田雅子 小須田萌 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 槌谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 西田真菜 長谷川珠子 樋高雄太 藤田千明 古舘順一 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 和田美希 シニア・パートナー 新井康久 伊波 睦 永島義郎 南部洋一 吉江信博	団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 宇田紀夫 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 寛 美知子 加藤佑一 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 川口 貴 菊田秋一 岸良開城 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 齋藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 高山智仁 田沢 烈 立川和男 富阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克巳 松本伸二 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 渡辺哲雄
--	---	---	--	---	--

◎首席奏者
○副首席奏者

☆客演首席奏者
□試用期間

（2025年9月1日現在）